

# 白糠町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

白糠町は、北海道東部に位置し、太平洋沿岸に沿って東西に国道38号及びJR根室本線が、また、北部を道東自動車道が走っている。面積は773.13km<sup>2</sup>、人口は7,710人であり、人口の多くが沿岸に集中している。

昭和58年に旧国鉄白糠線が廃止となり、代替交通として、平成30年3月末まで町営バスにより沿線を運行していた。

車に頼った生活への変化、急速な人口減少や少子高齢化の進展などの要因により、公共交通利用者が減少し、公共交通を取り巻く環境は更に厳しさを増している。将来的に地域公共交通が成り立たなくなることが懸念される。

一方、高齢化社会の中で、住民だれもが生き生きと外出し、活動できる移動手段の確保の重要性はますます高まっている。

公共交通を取り巻く現状と課題と多様化する住民ニーズをしっかりと認識し、利便性のある公共交通ネットワークの再編を図るため、平成28年度に策定した「白糠町地域公共交通網形成計画」に基づき、町民の持続的な生活の足を確保するため、町内公共交通を継続的に確保・維持するものである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

- ・市街地コミュニティバスの利用者数 令和6年度目標 8,000人
- ・市街地における公共交通利用圏域 令和6年度目標 75.0%
- ・山間部における公共交通の利用者数 令和6年度目標 2,000人
- ・バス交通への満足度 令和6年度目標 80%
- ・車両減価償却費補助の目標 運行補助と同様

## 令和6年度事業概要

(1)茶路沢コース(右股～白糠駅・白糠学園・清和園)

運行便数 (月曜日～金曜日)9便、(土曜日)4便

運賃 200円(定時定路線区間)、200円～500円(デマンド区間)

(2)庶路沢コース(上庶路～白糠学園・清和園)

運行便数 (月曜日～金曜日)7便

運賃 200円(定時定路線区間)、200円～500円(デマンド区間)

(3)庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統1(庶路駅～白糠学園)

運行便数 (土曜日)2便

運賃 200円

(4)庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統2(庶路駅～清和園)

運行便数 (土曜日)2便

運賃 200円

なお、(2)、(3)及び(4)で使用する車両の購入にあたっては、車両減価償却費等国庫補助金を活用する。

## 地域公共交通の現況

- ・JR根室本線  
(白糠駅、西庶路駅、庶路駅)
- ・くしろバス株式会社  
(白糠線、鶴ヶ岱線)
- ・スクールバス住民利用  
(和天別沢)
- ・タクシー(全域)

## 白糠町地域公共交通会議開催状況

■令和5年6月21日

地域内フィーダー系統確保維持計画について、対面会議により開催し合意

■令和7年1月14日

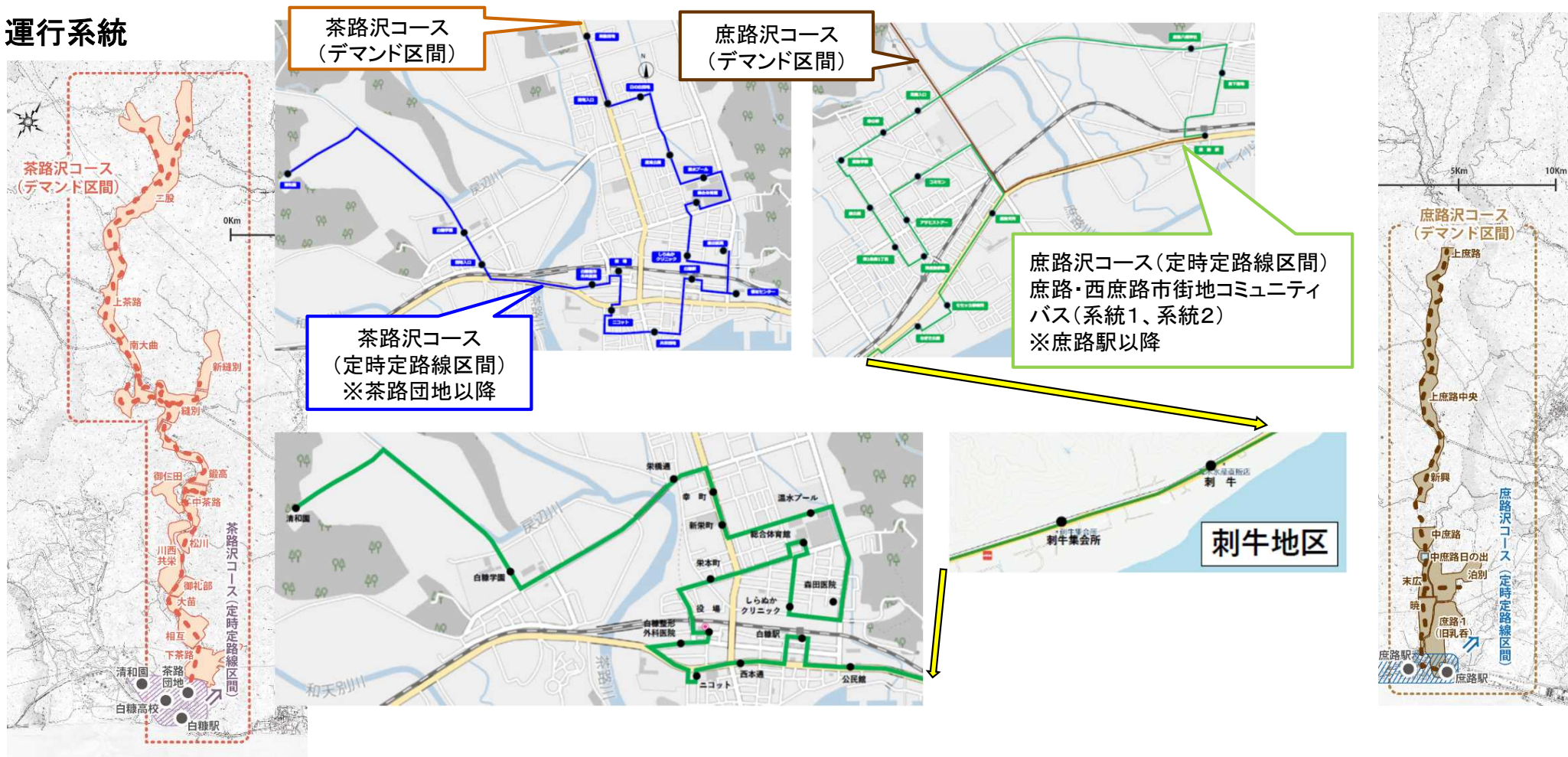
地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、車両減価償却費国庫補助金)に係る事業評価(案)について、書面会議により開催

# 令和6年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

- ・平成28年度から平成29年度の間実施したバス乗降調査、利用者ニーズ把握調査及び実証運行の結果をもとに、運行経路、停留所の位置、運行ダイヤ等の検討を行った。
- ・市街地における交通空白地域の解消のために、これまで路線がなかった地域を経由し、併せて、商業・医療・福祉施設などの生活拠点を結ぶ路線とした。
- ・山間部と市街地を結ぶ路線を予約制バスとし、利用実態を考慮した効率的で利便性の高い運行形態とした。
- ・平成30年4月から本格運行を開始後、更なる利用者への利便性の向上を図るため、上記の内容を見直し、令和4年4月にこれまでの運行経路、停留所の位置、運行ダイヤの追加を行い運行。

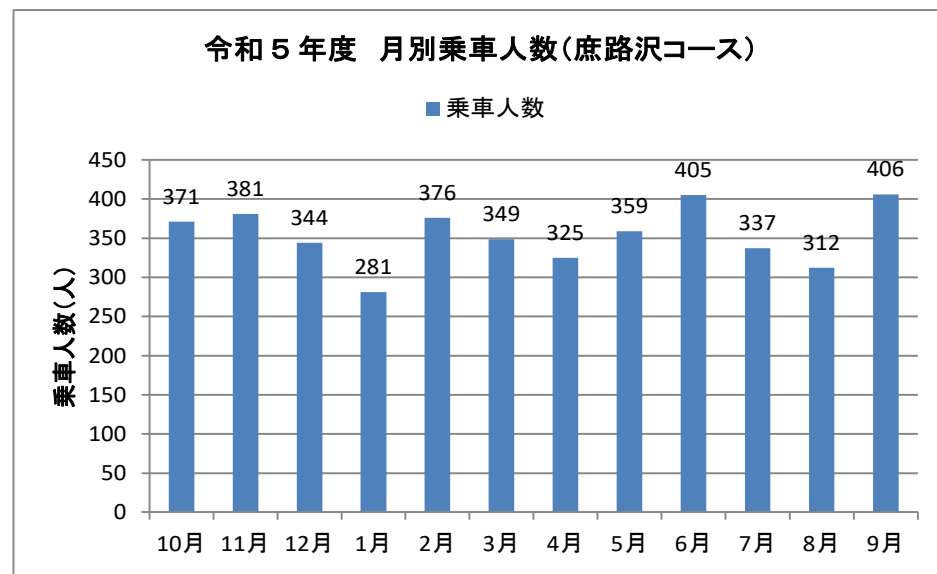
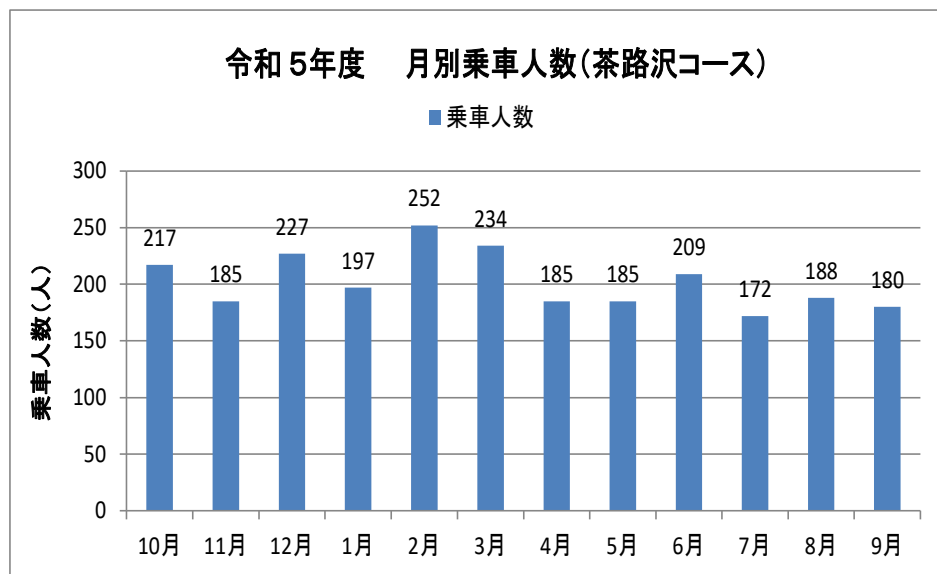
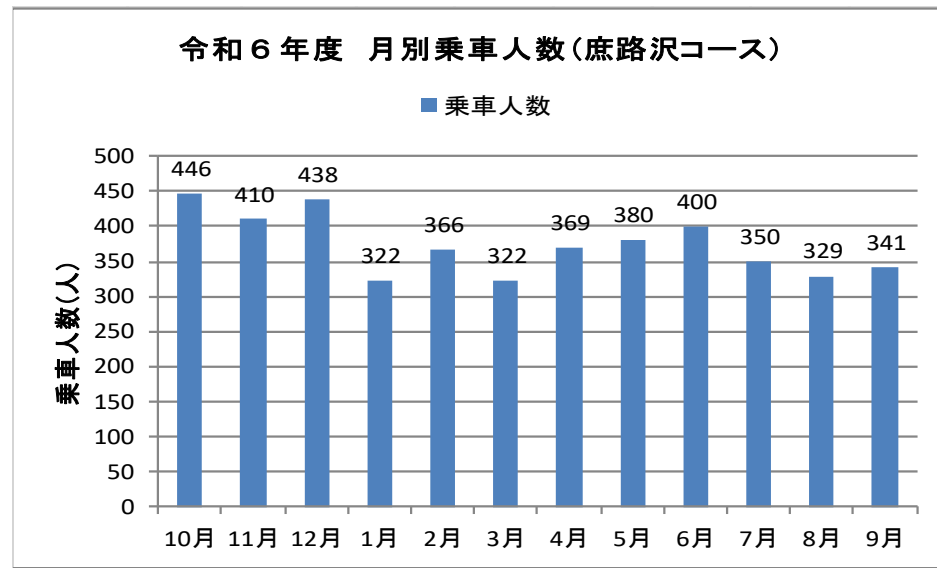
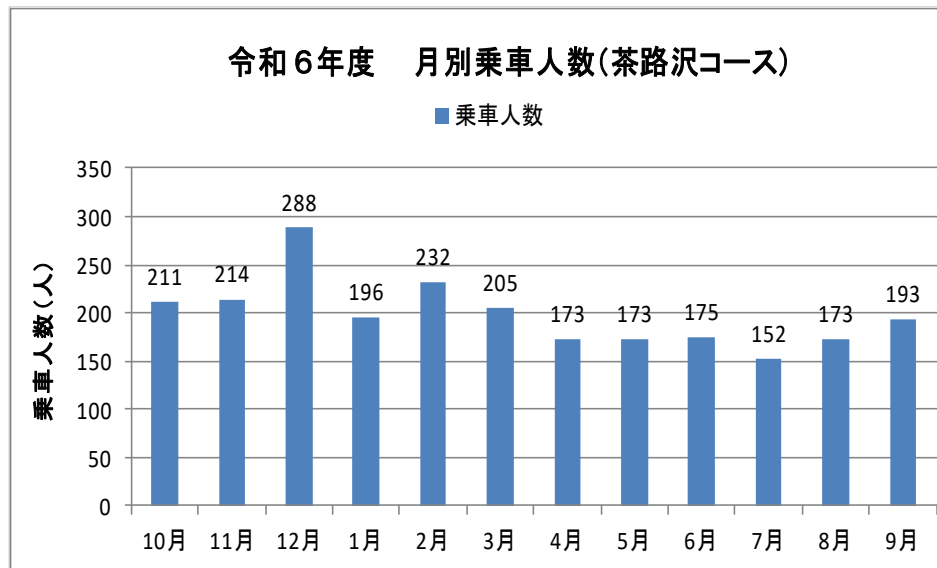
## 2) 運行系統



### 3) 利用実績①

★茶路沢コース R6 2,385人、R5 2,431人

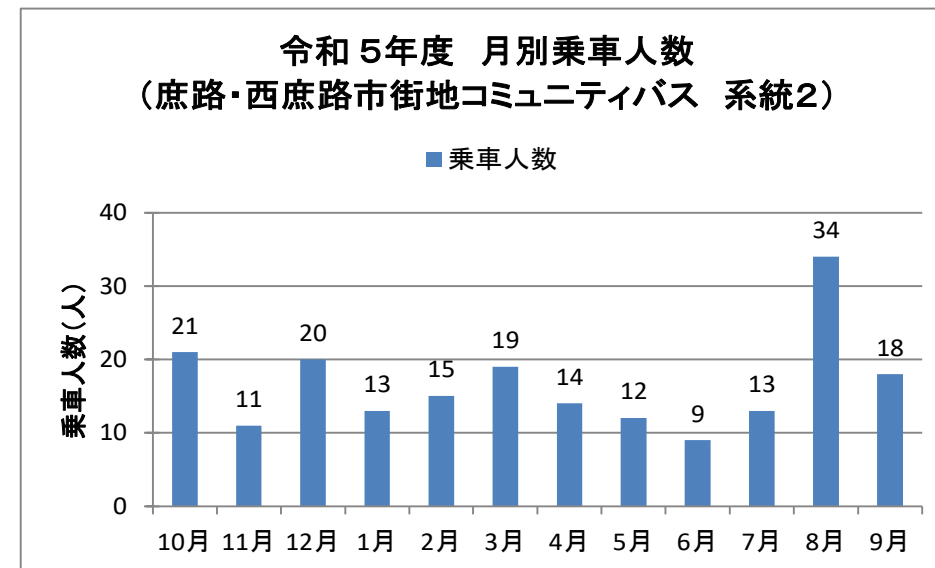
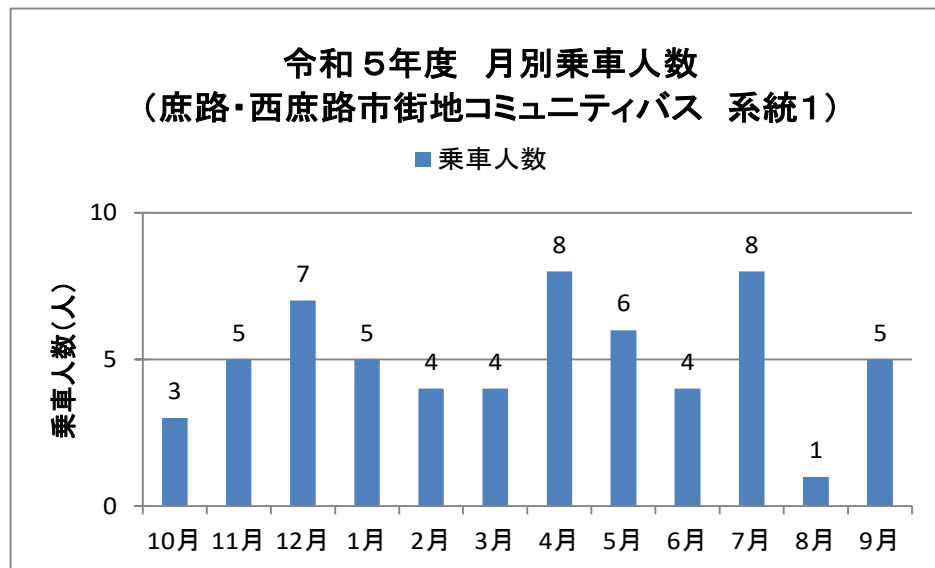
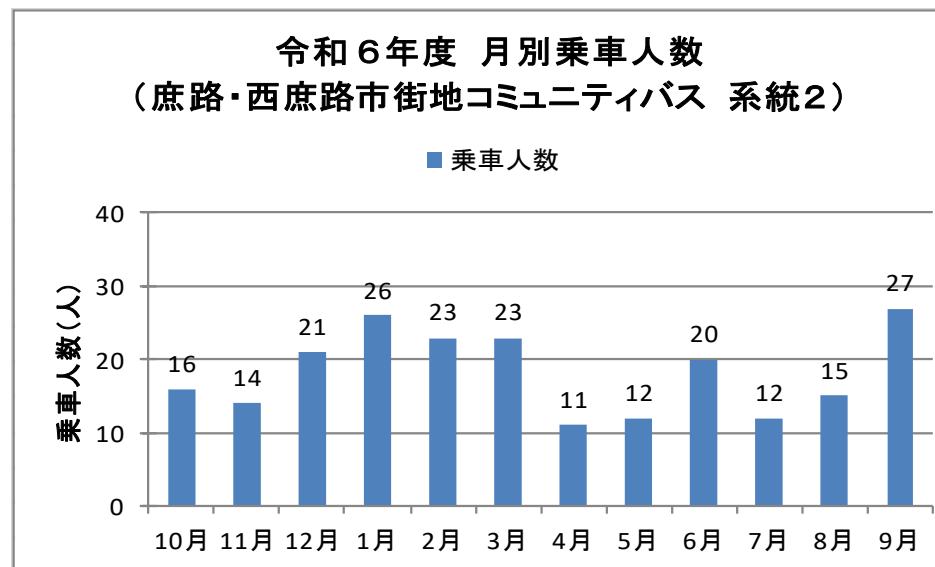
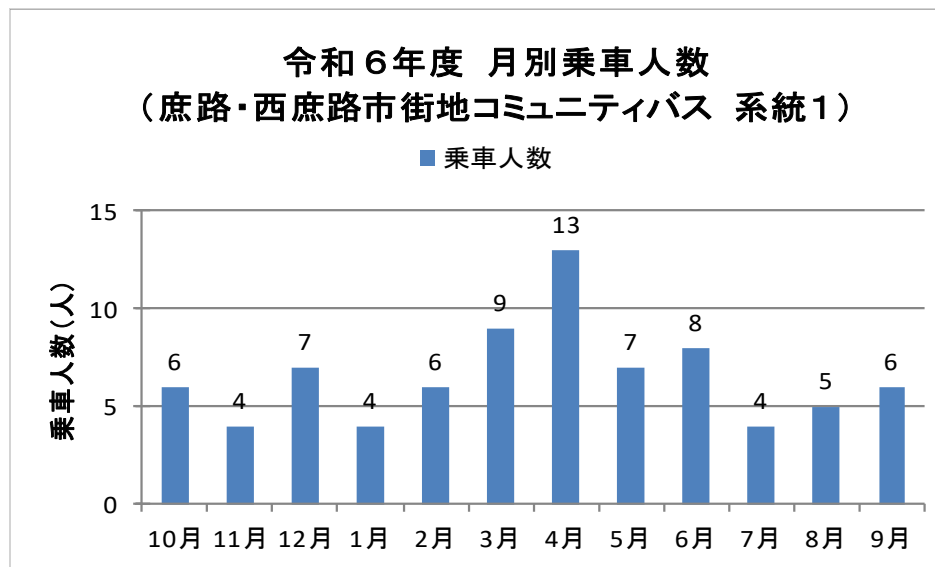
★庶路沢コース R6 4,473人、R5 4,246人



### 3) 利用実績－②

★庶路・西庶路(系統1) R6 79人、R5 60人

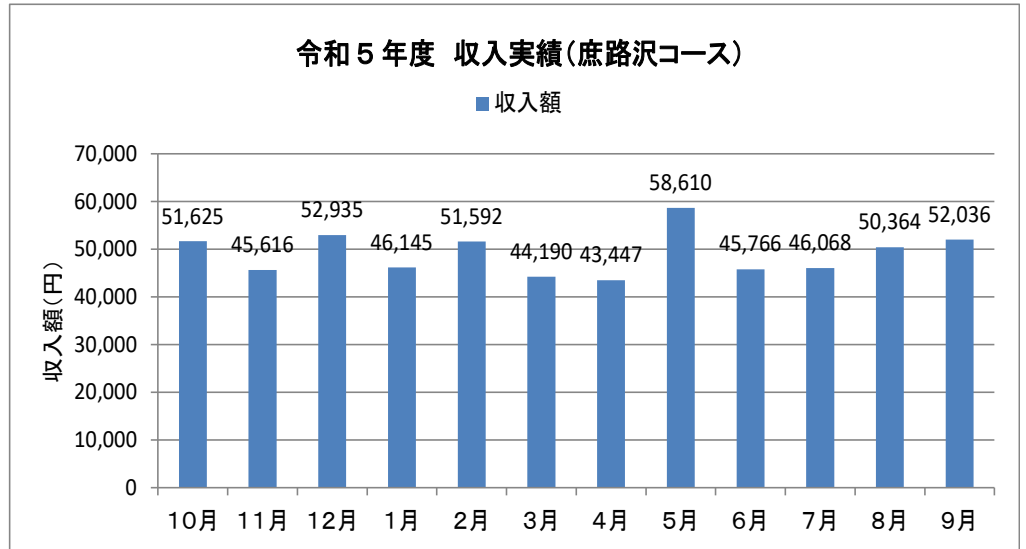
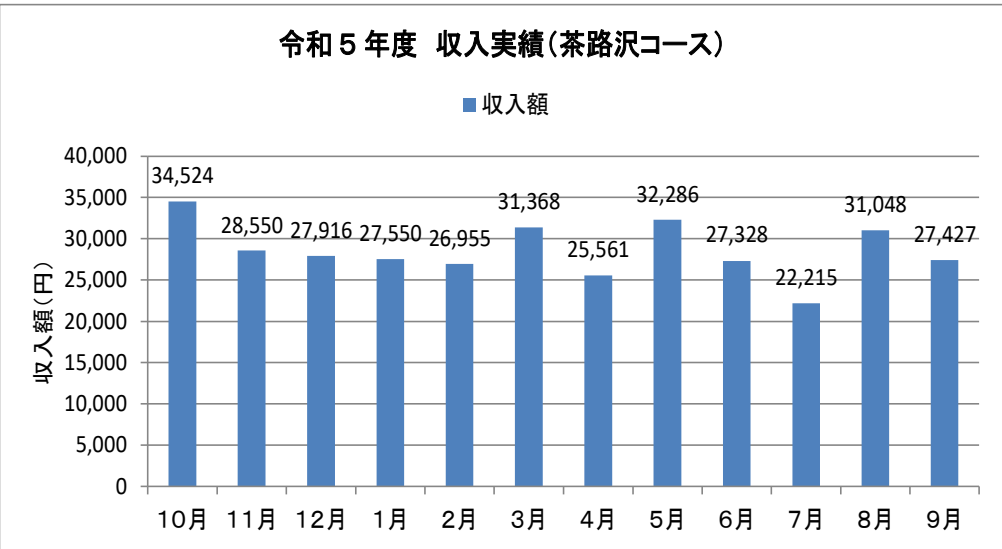
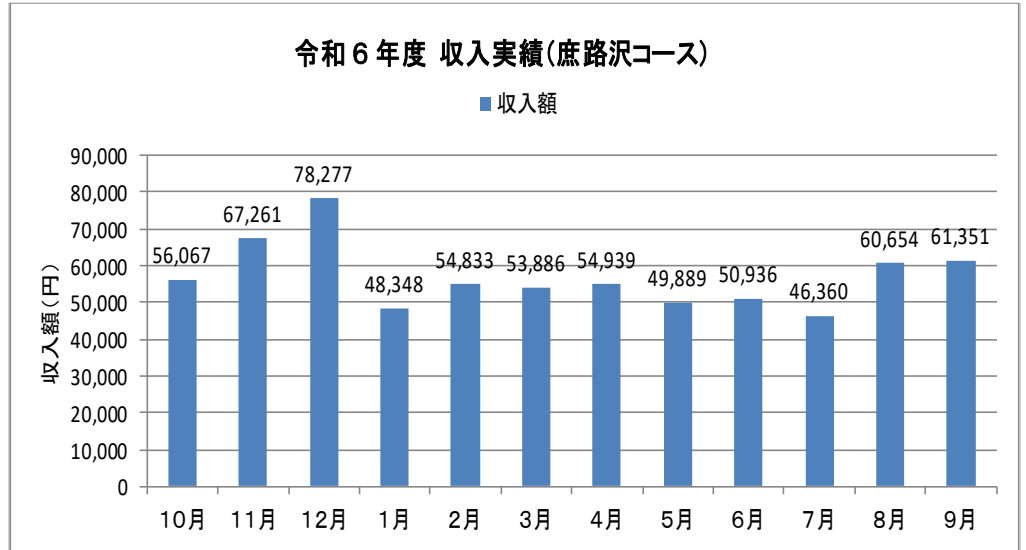
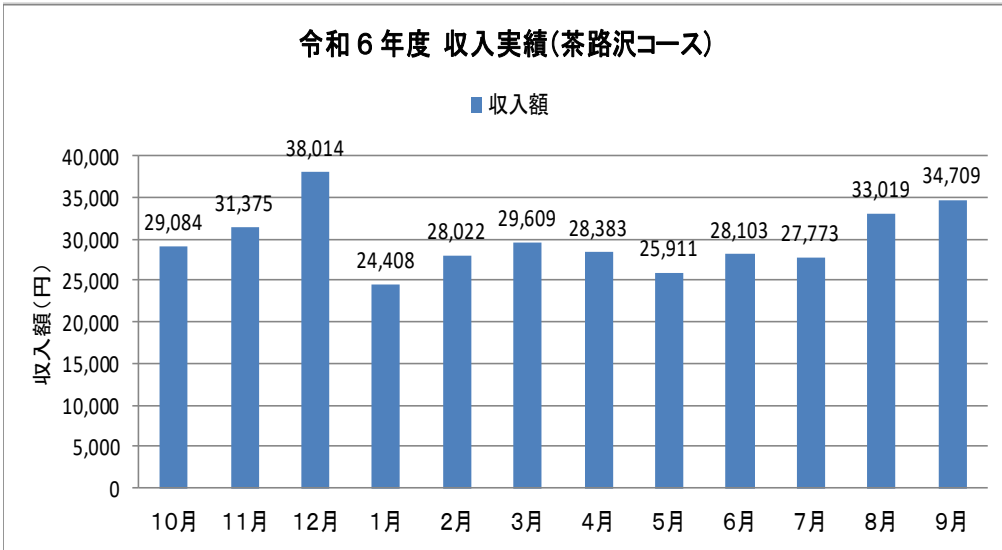
★庶路・西庶路(系統2) R6 220人、R5 199人



#### 4) 収入実績①

★茶路沢コース R6 358,410円、R5 342,728円

★庶路沢コース R6 682,801円、R5 588,394円

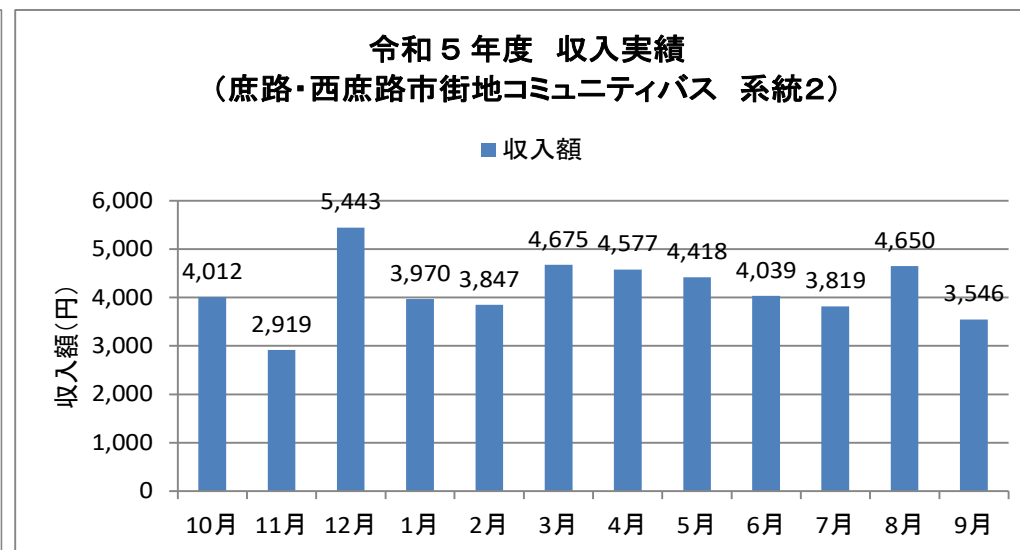
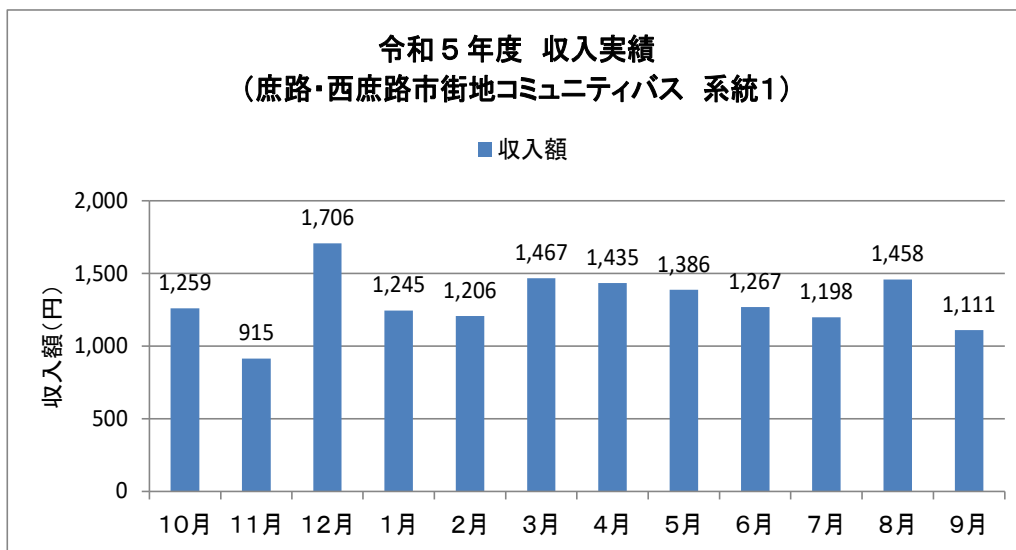
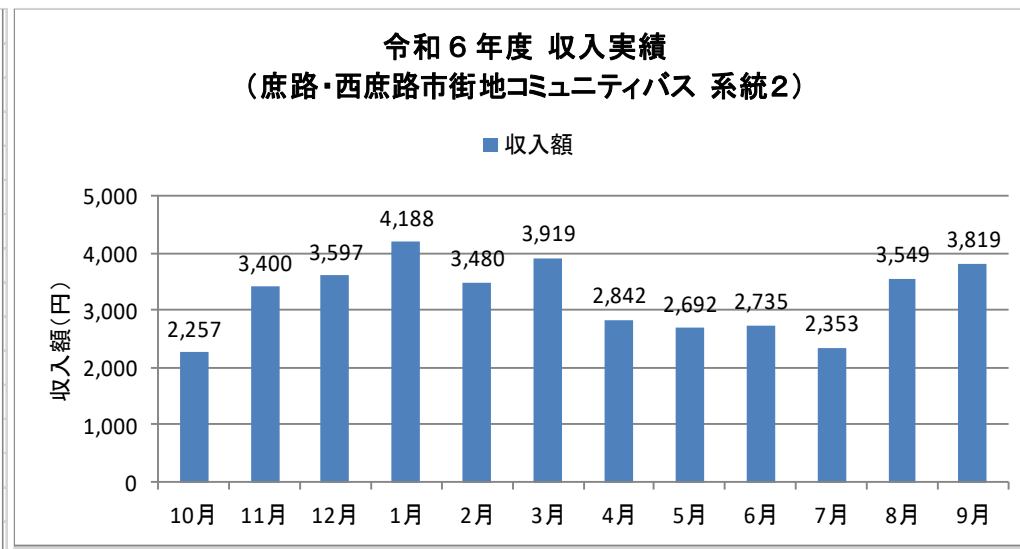
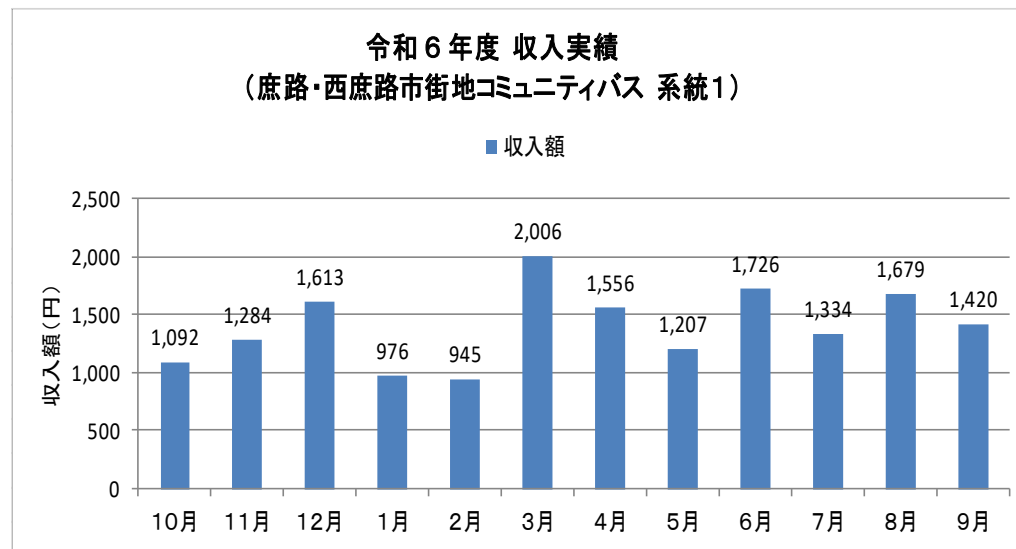




#### 4) 収入実績－②

★庶路・西庶路(系統1) R6 16,838円、R5 15,653円

★庶路・西庶路(系統2) R6 38,831円、R5 49,915円



## 5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

市街地コミュニティバスの利用者数

5,768人(令和6年度目標 8,000人)※令和5年度実績 5,451人

市街地における公共交通利用圏域

75.0%(令和6年度目標75.0%)

山間部における公共交通の利用者数

1,389人(令和6年度目標2,000人) ※令和5年度実績 1,750人

バス交通への満足度

62.6%(令和6年度目標 80%)

・令和5年10月～令和6年9月までの利用者数は、市街地コミュニティバスは昨年同期と比べ増加、山間部の予約制バスは減少し、伴に目標値を下回る結果となった。

## 7) 事業の今後の改善点

<令和7年度>

今後は、令和6年3月に策定した「地域公共交通計画」に基づき、町民が生活する上で必要(買い物や通院、通学等)な町内及び広域移動を確保・維持するため、協議会において、利便性の良い交通体系の構築を目指す。

## 8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・利用圏域の目標は達成されており、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。